**蚕のたべもの**

蚕は、ほぼ、桑の葉のみを消費する。現代の蚕は完全に家畜化されているため、人によって桑の葉を与えられなければ、衰弱して、死亡する。一頭の蚕は生涯に合計２０～２５グラムの桑の葉を食べるが、そのうち８０パーセントは、幼虫としての最後の発育段階（第５段階）で消費される。繭を作り始める頃には、蚕の大きさは当初の２５倍以上に成長している。

 蚕は桑の葉のタンパク質と窒素の栄養を使い、絹の繭を作るための２つのタンパク質、フィブロインとセリシンを生成する。現代の養蚕では、蚕に人工飼料が与えられることもあるが、蚕が好むのは依然、原初からの食料、桑である。